



その病気、歯周病のせいかも.....

歯周病で命が縮む！？

歯周病は、放っておくとついには歯がぐらぐらになって失われてしまう怖い病気です。でもそれだけでは済まされないのです。糖尿病が悪化したり脳や心臓の血管がつまりやすいなど全身の病気を進行させてしまう重大なリスク因子でもあることが解明されてきています。

ポケットの中、きれいですか？

深い歯周ポケットが出来ると、細菌のかたまり、プラークがその奥まで入り込み、特に空気の嫌いな歯周病菌にとって、絶好の環境が出来あがります。また、細菌の死骸や唾液に含まれるカルシウムがガチガチに固まってできる歯石が歯に硬くこびりつくと、ここにプラークが、べったりと付き、歯周病菌の格好の棲家になります。放置すると歯周病菌が爆発的に増え、歯周ポケットはあたかも歯周病菌の貯蔵庫に！その結果、細菌の出す毒素や細菌自体が、体内へと慢性的に送りこまれてしまいます。

なぜ歯周病は体に悪い？

歯周病は感染症です。体には、細菌感染から自分を守る為の免疫反応があります。守りを固める白血球が、細菌をやっつけようと一生懸命働きます。この白血球の戦いがかなり過剰なもので、細菌をやっつけると同時に炎症物質を沢山作りだし、必要以上に歯肉や歯槽骨などを破壊してしまうのです。歯肉に炎症が起こると、歯周ポケットの上皮は傷つきやぶれます。すると、ポケット内に充満している細菌の毒素や細菌そのものが体内に流れ込みます。

歯周病と糖尿病は、双方向に悪さをし合っていることが分かってきました！糖尿病の免疫低下で歯周病になりやすく、歯周病菌の炎症物質の刺激で糖尿病が悪化しやすいといわれています。

糖尿病ほどはまだ解明されていませんが近年心筋梗塞や脳梗塞との関連が指摘されてきています。今後のさらなる研究が期待されます。



歯周治療する前のお口の写真です。歯肉が赤く、腫れています。

治療により歯肉の炎症がとれ、きれいなピンク色の健康的な歯肉になりました。

